

授業科目名	国文学 (2100131)		
時間割名	国文学 (22110)		
時間割担当	阿尾あすか		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・2		

授業の目標・概要

前期の国文学入門に引き続き、中学高等学校の国語教師として必要な国文学に対する基礎知識をより発展させることを主な目的とする。講義では、日本古典文学を代表する『源氏物語』が後世の日本文化および文学、特に中世和歌に与えた影響について取り上げる。

学習の到達目標

- ・日本古典文学を鑑賞するのに必要な基礎知識の習得
- ・和歌における『源氏物語』受容を手掛かりに、「作品研究」の方法をつかむ

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 導入部 「物語」とは何か
日本古典文学における「物語」の役割と、近代以前の日本人の「物語」観について学ぶ。
- 第2回 導入部 『源氏物語』とは何か
日本古典文学を代表し後代の文学に影響を与えた『源氏物語』がどのような物語なのかを概観する。
- 第3回 導入部 『源氏物語』の世界観
前回の授業に引き続き、『源氏物語』が築いた世界観、後代に影響を与えた思想について学ぶ。
- 第4回 導入部 『源氏物語』と同時代の思想と思考
前回の授業に引き続き、『源氏物語』の根底にある同時代の思想を把握する。
- 第5回 『源氏物語』の後代への影響
『源氏物語』が後代の文化・思想に与えた影響について概観する。
- 第6回 『源氏物語』の後代への影響
『源氏物語』が後代の文化・思想に与えた影響について、具体例を挙げて把握する。
- 第7回 『源氏物語』の後代への影響
『源氏物語』が後代の文学に与えた影響について概観する。
- 第8回 『源氏物語』の後代への影響
具体例を挙げながら『源氏物語』が後代の文学に与えた影響について、具体例を挙げて把握する。
- 第9回 和歌の源氏取り
『源氏物語』の中の和歌を本歌取りした和歌について、中世を中心に概観する。
- 第10回 和歌の源氏取り
『源氏物語』の中の和歌を本歌取りした中世和歌について、具体例を検討して学ぶ。
- 第11回 和歌の源氏取り
『源氏物語』の物語場面を踏まえた和歌について、中世を中心に概観する。
- 第12回 和歌の源氏取り
『源氏物語』の物語場面を踏まえた中世和歌について、具体例を検討して学ぶ。
- 第13回 源氏取りの変奏
宮中の貴族層以外人間が『源氏物語』をどのように享受したか、中世和歌を中心に概観する。
- 第14回 源氏取りの変奏
宮中の貴族層以外人間が、『源氏物語』をどのように享受したか、具体例を検討して学ぶ。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。(50%)
さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。(50%)

授業時間外の課題

1. テキストや参考図書、授業で配布したプリントをよく読んで、授業内容を十分に把握すること。
2. テレビや映画などのメディア、ウェブサイト、事典などを活用して、教材作品についての理解を深める。

メッセージ

学生諸君の積極的な受講態度を求めます。わからないところは質問したり、自分で調べるなどして予習復習を行ってください。

教材・教科書

岩佐美代子著『宮廷文学のひそかな楽しみ』（文春新書）や、田口榮一監修『すぐわかる源氏物語の絵画』（東京美術）

参考書

学校教科書国語便覧など